

松江市 報道提供資料

令和6年5月2日

件名

松浦嘉昭氏のミズノスポーツメントール賞受賞による市長報告について

内容

島根県サッカー協会名誉会長や松江市スポーツ少年団本部長など数々のスポーツ団体の第一線で活躍をされている松浦嘉昭氏が、長きに渡る指導実績を評価され、ミズノスポーツメントール賞を受賞されました。つきましては下記のとおり、松浦嘉昭氏が上定市長にミズノスポーツメントール賞の受賞報告を行います。

記

1. 期 日: 令和6年5月10日(金) 11:45~12:00
2. 場 所: 市長室(松江市役所 本庁舎4階)
3. 出席者: 松浦嘉昭氏(島根県サッカー協会 名誉会長/松江体育協会 副会長/松江市スポーツ少年団本部 本部長/同指導者協議会 会長/日本消防協会 副会長/JAしまねくにびき地区本部 燦燦会 会長)

【問い合わせ】

文化スポーツ部スポーツ課 担当: 江戸 電話: 0852-55-5296

2024年3月6日

主催（公財）ミズノスポーツ振興財団

共催（公財）日本スポーツ協会

（公財）日本オリンピック委員会

「2023年度 ミズノ スポーツメントール賞」受賞者決定

（公財）ミズノスポーツ振興財団では、（公財）日本スポーツ協会、（公財）日本オリンピック委員会と共催で、1990年度から「ミズノ スポーツメントール賞」を制定しており、2023年度で34回目となりました。この賞は、我が国の競技スポーツおよび地域スポーツにおいて選手の強化・育成ならびに地域スポーツの普及・振興に貢献した指導者を顕彰するとともに、優秀な指導者の育成を目的に制定したものです。

3月6日（水）、グランドプリンスホテル高輪で選考委員会を開催し、以下の通り、受賞者を決定いたしました。

なお、この「ミズノ スポーツメントール賞」の表彰式は、4月23日（火）にグランドプリンスホテル新高輪で行う予定です。

【ミズノ スポーツメントール賞 ゴールド】（トロフィー、副賞200万円）

酒井 瑞穂 氏（日本陸上競技連盟／東洋大学陸上部 監督補佐兼競歩コーチ）

【ミズノ スポーツメントール賞 シルバー】（トロフィー、副賞各100万円）

ポアダン フランク氏（日本フェンシング協会／フェンシング ナショナルヘッドコーチ）

菊地 正 氏（神奈川県スポーツ協会／スポーツ全般 公認クラブマネジャー）

京谷 和幸 氏（日本パラスポーツ協会／車いすバスケットボール 日本パラスポーツ協会

公認中級パラスポーツ指導員、公認パラスポーツコーチ）

【ミズノ スポーツメントール賞】（トロフィー、副賞各50万円）

石田 大輔 氏（日本卓球協会／日本生命保険相互会社 卓球部 コーチ）

中島 貴子 氏（日本水泳連盟／アーティスティックスイミング日本代表 ヘッドコーチ）

狩野 倫久 氏（日本サッカー協会／佐川急便株式会社 U-20 日本女子代表 監督）

上野 順恵 氏（全日本柔道連盟／三井住友海上火災保険株式会社 全日本女子70kg級 コーチ）

宮本 真理子氏（茨城県スポーツ協会／エアロビック 公認エアロビックコーチ1）

石井 真維 氏（千葉県スポーツ協会／バスケットボール JBA 公認C級コーチ）

米富 和郎 氏（滋賀県スポーツ協会／柔道 公認柔道コーチ1）

中嶋 千晶 氏（大阪府スポーツ協会／スポーツ全般 公認スポーツドクター）

松浦 嘉昭 氏（島根県スポーツ協会／サッカー 公認コーチングアシスタント）

詳細は別記の通りです。

記

名 称 : 2023年度 ミズノ スポーツメントール賞

目的及び
選考基準 : 過去継続して我が国における優秀選手の育成に努めた指導者およびその周辺の指導者、ならびに長年にわたり継続して地域スポーツの振興に尽力した指導者の顕彰

選考委員 : 委員長 山下 泰 裕 ((公財)日本オリンピック委員会 会長)
委員 山本 浩 ((公財)日本スポーツ協会 常務理事)
" 上 治 丈太郎 ((公財)日本スポーツ協会 評議員)
" 草野 満 代 ((公財)日本スポーツ協会 監事)
" 尾 縣 貢 ((公財)日本オリンピック委員会 専務理事)
" 小谷 実可子 ((公財)日本オリンピック委員会 常務理事)
" ヨコ セッターラント (日本女子体育大学 准教授)
" 水野 英 人 ((公財)ミズノスポーツ振興財団 副会長)

※順不同

対 象 者 : 国内外を問わず我が国の競技スポーツの指導者および地域スポーツの指導者

受賞者及び選考理由 :

【ミズノ スポーツメントール賞 ゴールド】

酒井 瑞穂 (さかい みずほ) 氏 47歳 (1976. 11. 20生)

(日本陸上競技連盟/東洋大学陸上部 監督補佐兼競歩コーチ)

世界選手権、オリンピック競技大会においてもメダリストを数多く輩出している。特に、東京2020オリンピックでの銀メダル(池田)、オレゴン2022世界選手権では2種目での銀メダル(池田、川野)、そして2023ブダペスト世界選手権では川野が2大会続けてのメダル獲得となる銅メダルを獲得し、日本の競歩および陸上の世界レベルであることを強く印象付けた。ジュニア期からシニア期(中長期的)の各世代において、世界で活躍する選手を数多く輩出している。世界大会で活躍する選手を指導しつつ、新たに世界で活躍する選手も育成している。

【指導(サポート)した主な選手】

川野 将虎 '23 ブタペスト2023世界陸上競技選手権大会 35km 競歩 3位
'22 オレゴン2022世界陸上競技選手権大会 35km 競歩 2位
'19 ナポリユニバーシアード 20km 競歩 2位
池田 向希 '22 オレゴン2022世界陸上競技選手権大会 20km 競歩 2位
'22 第29回世界競歩チーム選手権 20km 競歩 2位
'21 東京2020オリンピック競技大会男子 20km 競歩 2位
'19 ナポリユニバーシアード 20km 競歩 1位

【ミズノ スポーツメントール賞 シルバー】

ボアダン フランク氏 51歳 (1972. 8. 28生)

(日本フェンシング協会/フェンシングナショナルチーム ヘッドコーチ)

本場フランスでトップコーチとして活躍した後、2017年に来日。日本代表女子フルーレ種目を指導。来日後は日本の文化を学びながら日本人選手にあった指導方法で世界に導いた。2019年アジア選手権、世界選手権では男女フルーレ種目を指揮、2021年の東京2020大会後は統括ヘッドコーチとして指導にあたり、男子フルーレは2023世界ランキング年間1位を獲得。2023年世界選手権大会において、日本史上初の団体戦優勝を果たし、個人戦においても松山恭助を

銅メダルに導いた。トップシニアだけでなく、若い世代にも目を向け全国各地に出向いて育成強化をサポートし、数々の若い選手を世界レベルに引き上げた。日本代表の指導者であると同時に日本人コーチの指導力向上にも尽力している。

【指導（サポート）した主な選手、チーム】

松山 恭助 '23 世界選手権大会（イタリア/ミラノ） 男子フルーレ個人 3 位

松山 恭助/敷根 崇裕 /飯村 一輝/鈴木 健太

'23 世界選手権大会（イタリア/ミラノ） 男子フルーレ団体 1 位

菊地 正（きくち ただし）氏 72 歳（1951. 9. 18 生）

（神奈川県スポーツ協会／スポーツ全般 公認クラブマネジャー）

NPO 法人高津総合型スポーツクラブ SELF を設立し、現在まで 20 年以上もの長きにわたり理事長および公認クラブマネジャーとして運営に携わっている。同クラブは幼児から大人までを対象に会員約 1,300 名、登録スタッフ約 110 名の大規模クラブとして、地域スポーツの普及・振興に寄与している。

中学校運動部活動の地域移行・地域連携にも積極的に協力し、クラブの拠点校である中学校の希望に沿った指導者を派遣するなど、クラブの活動拠点である川崎市における円滑な地域移行に貢献している。

また、自身が運営するクラブの発展だけでなく、地域スポーツクラブ全体の発展に関しての活動にも力を入れている。様々な団体と協力し、総合型地域スポーツクラブの自立化の促進や地位向上に向けた活動に取り組むなど、神奈川県内のスポーツクラブの発展および地域スポーツの振興にも寄与している。

京谷 和幸（きょうや かずゆき）氏 52 歳（1971. 8. 13 生）

（日本パラスポーツ協会／車いすバスケットボール 日本パラスポーツ協会
公認中級パラスポーツ指導員、公認パラスポーツコーチ）

車いすバスケットボール男子日本代表のヘッドコーチとして、東京 2020 パラリンピック競技大会にてチームを日本史上初の銀メダル獲得に導いた。

同氏は指導者として活動する以前は、選手としても活躍しており、過去 4 大会連続でパラリンピック競技大会に出場した。2016 年の自身 5 回目となるパラリンピック競技大会には指導者（アシスタントコーチ）として参加した。

同氏は若手選手の育成・強化にも力を入れ、23 歳以下の日本代表ヘッドコーチ時代に指導した選手が、A 代表に選出されるなど、競技力向上に向けた指導力も申し分がない。

車いすバスケットボールの普及と発展に大きく貢献し、選手強化の好循環モデルをつくったことは、車いすバスケットボールにとどまらず、パラスポーツ全体の競技力向上の底上げに貢献している。

【ミズノ スポーツメントール賞】

石田 大輔（いしだ だいすけ）氏 44 歳（1979. 9. 25 生）

（日本卓球協会／日本生命保険相互会社 卓球部 コーチ）

早田選手をオリンピックや世界でメダルを獲得する選手にするために退職し、それまでの指導から専任コーチとして指導をしている。全生活を共に過ごし、体調管理、栄養管理等、総合的なサポートを続けている。国内、国際競技大会においても好成績を残している。2023 年の世界卓球選手権大会では中国選手を倒し見事銅メダルを獲得した（世界卓球シングルスメダルは、44 年ぶりの快挙）。

【指導（サポート）した主な選手】

早田 ひな '23 第 57 回世界卓球選手権ダーバン大会（個人戦）

シングルス 3 位 / 混合ダブルス 2 位

'23 天皇杯・皇后杯 2023 年全日本卓球選手権大会

女子ダブルス/混合ダブルス/シングルス 3 冠

'21 第 56 回世界卓球選手権ヒューストン大会(個人戦)

女子ダブルス/混合ダブルス 2 位

'21 第 25 回アジア選手権大会 団体/シングルス/混合ダブルス 3 冠

中島 貴子(なかじま たかこ)氏 37歳(1986.9.25生)

(日本水泳連盟/アーティスティックスイミング日本代表 ヘッドコーチ)

自身の選手引退後、井村 AS クラブでアーティスティックスイミング競技の指導にあたり、多数の日本代表選手を輩出している。2021 年に日本代表ヘッドコーチに就任し、2023 年世界選手権において、AS 競技で金メダル 4 個、銀メダル 1 個、銅メダル 2 個を獲得した。

【指導した(サポート)した主な選手】

安永 真白/比嘉 もえ

'23 世界水泳選手権 2023 福岡大会 AS 女子デュエットテクニカルルーティン 1 位

佐藤 友花/佐藤 陽太郎

'23 世界水泳選手権 2023 福岡大会 AS ミックスデュエットテクニカルルーティン 1 位

吉田 萌/木島 萌香/柳澤 明希/和田 彩未/島田 綾乃/小林 唄

'23 世界水泳選手権 2023 福岡大会 AS 混合チームフリールーティン 2 位

藤井 萌夏/鈴木 ひかり/廣田 憩

'23 世界水泳選手権 2023 福岡大会 AS アクロバティックルーティン 3 位

狩野 倫久(かのう みちひさ)氏 47歳(1976.7.6生)

(日本サッカー協会/佐川急便株式会社 U-20 日本女子代表 監督)

第 19 回アジア競技大会(2022/杭州)において、短期間での準備にもかかわらず監督としてチームを優勝に導いた。第 19 回アジア競技大会(2022/杭州)で起用した選手が、その後なでしこ JAPAN に招集された(中嶋淑乃、谷川萌々子、古賀塔子)。JFA コーチとして、長年女子サッカー選手の育成に携わり、日本女子サッカーの底上げに貢献してきた。

【指導(サポート)した主な選手】

古賀 塔子 '23 第 19 回アジア競技大会(2022/杭州) 1 位

谷川 萌々子 '23 第 19 回アジア競技大会(2022/杭州) 1 位

千葉 玲海菜 '23 第 19 回アジア競技大会(2022/杭州) 1 位

中嶋 淑乃 '23 第 19 回アジア競技大会(2022/杭州) 1 位

石川 璃音 '19 AFC U-16 女子選手権 2019 1 位

藤野 あおば '19 AFC U-16 女子選手権 2019 1 位

上野 順恵(うえの よしえ)氏 40歳(1983.7.1生)

(全日本柔道連盟/三井住友海上火災保険株式会社 全日本女子 70kg 級 コーチ)

全日本では 70 kg 級の強化担当コーチとして 2016 年の就任以降、選手所属先との連携を図りながら選手の強化及びコンディション調整に努め、東京オリンピックの金メダル獲得に貢献するなど、国際大会で多くの選手を好成績に導いている。2023 年 5 月に開催の世界選手権大会、9 月に開催のアジア競技大会においては、担当階級での金メダル獲得に貢献した。中・長期に渡り日本柔道の強化に貢献しており、2024 年パリオリンピックでも担当階級の活躍が多いに期待される。

【指導(サポート)した主な選手】

田中 志歩 '23 第 19 回アジア競技大会(2022/杭州) 女子 70 kg 級 1 位

新添 左季 '23 世界柔道選手権大会(ドーハ) 女子 70kg 級 1 位

'22 世界柔道選手権大会(タシケント) 女子 70kg 級 3 位

新井 千鶴 '21 第 32 回オリンピック競技大会(2020/東京) 女子 70 kg 級 1 位

'18 世界柔道選手権大会(ブダペスト) 女子 70kg 級 1 位

'17 世界柔道選手権大会(バクー) 女子 70kg 級 1 位

宮本 真理子（みやもと まりこ）氏 69歳（1954. 10. 30生）

（茨城県スポーツ協会／エアロビック 公認エアロビックコーチ1）

幅広い年齢層を対象とした地域での活動の中で、エアロビックの普及・発展・競技力の向上に貢献している。また、茨城県エアロビック連盟の設立に積極的に関与し、日本エアロビック連盟や茨城県体育協会（現：茨城県スポーツ協会）への加盟活動では、リーダーとして手腕を発揮し組織の存続や拡大に尽力している。

石井 真維（いしい まい）氏 46歳（1977. 6. 27生）

**（千葉県スポーツ協会／バスケットボール 公認バスケットボールコーチ1
[JBA 公認C級コーチ]）**

千葉県内のミニバスケットボールチーム、中学校等の運動部活動指導者として、子どもたちへのバスケットボールの指導・普及に取り組んでいる。

2022年度からは部活動の地域移行・地域連携のモデルとして、中学校の運動部活動の外部指導者として活動し、生徒たちがバスケットボールを通して成長し、学業もバスケットボールも両立して取り組めるよう、中学校教諭と連携しながら指導に励んでいる。

米富 和郎（よねとみ かずお）氏 41歳（1982. 10. 8生）

（滋賀県スポーツ協会／柔道 公認柔道コーチ1）

高等学校の運動部活動の指導者として、部員の育成・競技力向上に大きく貢献している。特に、近年の指導に伴う成績は目覚ましく、高校生部員ながらシニアの国際柔道大会で優勝する他、全国高校総体、全日本ジュニア選手権大会、世界ジュニア選手権大会でも優勝をおさめる等、これらの成績は同氏の優れた指導力の賜物であるといえる。

多数の生徒を指導しながら、成長を支援し、競技力を向上させることができる指導者として、日本の柔道界を担う若者の育成に貢献している。

中嶋 千晶（なかじま ちあき）氏 67歳（1956. 10. 3生）

（大阪府スポーツ協会／スポーツ全般 公認スポーツドクター）

毎年国民体育大会（現：国民スポーツ大会）の県選手団の選手・監督に対して、アンチ・ドーピングに関する研修を行い、アンチ・ドーピングの教育及び啓発に努めるとともに、大会帯同ドクターとして、選手のサポートを行っている。

また、長年、大阪府スポーツ協会の理事およびスポーツ医・科学委員会の委員としても活躍しており、府民スポーツの競技力向上および府民の体力向上をもって、スポーツの振興に寄与している。

松浦 嘉昭（まつうら よしあき）氏 82歳（1942. 2. 17生）

（島根県スポーツ協会／サッカー 公認コーチングアシスタント）

58年もの長きにわたり地域のサッカー教室やスクールの指導者として活動している。少年サッカースクールの設立に尽力し、指導者として活動しながら、地域のサッカー競技の普及に大きく貢献してきた。

また、スポーツ少年団の指導者としても長年にわたり活動し、地域の子どもの育成とスポーツの普及活動に尽力し、松江市スポーツ少年団組織の中心となって活動を支えている。さらには、松江体育協会の理事等を歴任する等、地域に根差した活動を行っている。

以上

※年齢は24年3月6日時点

（お問合せ先）

公益財団法人ミズノスポーツ振興財団事務局 藁澤・澤井
ミズノ株式会社 コーポレートコミュニケーション室 木水

TEL. 03（3233）7009

TEL. 03（3233）7037